

介護現場の生産性向上にむけた 取組について

兵庫県福祉部高齢政策課
介護人材確保班

どうして介護現場の生産性を 高める必要があるのか



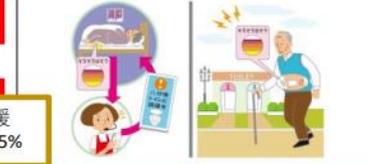
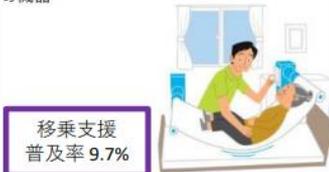
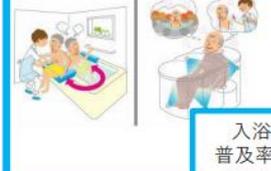
- 👉 高齢化社会による介護ニーズの増加
- 👉 少子化による人手不足の加速

- ・2040年度には約280万人の介護人材が必要(厚労省資料)
- ・生産年齢人口の減少で、介護分野の人材不足は加速中



働きやすい職場環境整備や就労条件改善を進めながら人材確保と離職防止の一挙両得を目指すには、介護現場の生産性の向上が不可欠！

ロボット等の導入を契機とした生産性向上

<p>移乗支援（装着） 介助者のパワーアシストを行う装着型の機器</p> 	<p>排泄支援（排泄物処理） 排泄物の処理にロボット技術を用いた設置位置の調整可能なトイレ</p>  <p style="text-align: center;">排泄支援 普及率 0.5%</p>	<p>排泄支援（排泄予測・検知） 排泄を予測又は検知し、排泄タイミングの把握やトイレへの誘導を支援する機器</p> 	<p>介護業務支援 介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、それを基に、高齢者等への介護サービス提供に関わる業務に活用することを可能とする機器・システム</p>  <p style="text-align: center;">介護業務支援 普及率 10.2%</p>
<p>移乗支援（非装着） 介助者による移乗動作のアシストを行う非装着型の機器</p>  <p style="text-align: center;">移乗支援 普及率 9.7%</p>	<p>排泄支援（動作支援） ロボット技術を用いてトイレ内での下衣の着脱等の排泄の一連の動作を支援する機器</p> 	<p>見守り（施設） 介護施設において使用する、各種センサー等や外部通信機能を備えた機器システム、プラットフォーム</p> 	<p>機能訓練支援 介護職等が行う身体機能や生活機能の訓練における各業務（アセスメント・計画作成・訓練実施）を支援する機器・システム</p> 
<p>移動支援（屋外） 高齢者等の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できるロボット技術を用いた歩行支援機器</p>  <p style="text-align: center;">移動支援 普及率 1.2%</p>	<p>移動支援（装着） 高齢者等の外出をサポートし、転倒予防や歩行等を補助するロボット技術を用いた装着型の移動支援機器</p> 	<p>見守り（在宅） 在宅において使用する、各種センサー等や外部通信機能を備えた機器システム、プラットフォーム</p> 	<p>食事・栄養管理支援 高齢者等の食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム</p> 
<p>移動支援（屋内） 高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポートし、特にトイレへの往復やトイレ内での姿勢保持を支援するロボット技術を用いた歩行支援機器</p> 	<p>入浴支援 入浴におけるケアや動作を支援する機器</p>  <p style="text-align: center;">入浴支援 普及率 11.2%</p>	<p>コミュニケーション 高齢者等のコミュニケーションを支援する機器</p>  <p style="text-align: center;">見守り・コミュニケーション 普及率 30.0%</p>	<p>認知症生活支援・認知症ケア支援 認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム</p> 

ロボット等の導入を契機とした生産性向上



たとえば・・・

- ・80kgの利用者を女性職員1人で移乗(ムリ)
- ・バイタルなどの記録を何度も手作業で転記(ムダ)
- ・特定の職員に業務が偏っている(ムラ)

3M削減

時間に追われ、こなす仕事から

やりがいのある介護の仕事へ

職務への主体的関わり、モチベーションの向上

働きやすい職場・働き続けたい職場の実現

離職の減、介護の質向上(利用者増)

処遇の改善、収益性の改善

好循環の創出

採用1件あたり職業紹介事業者を支払った手数料額

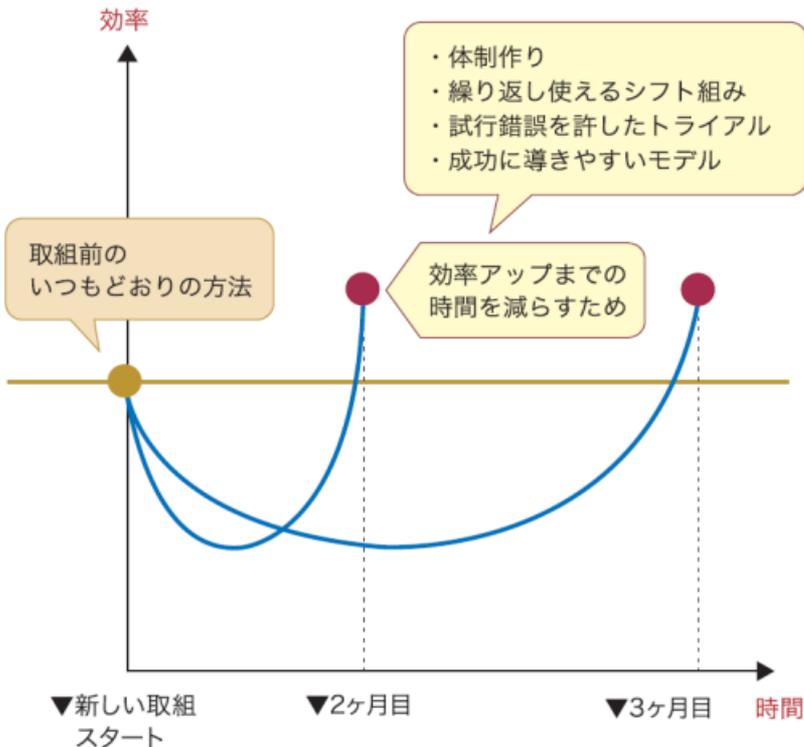
	介護支援 専門員	介護職員	看護職員	リハビリ 専門職
回答 事業者	21 事業所	156 事業所	91 事業所	23 事業所
手数料 (平均)	64.2 万円	50.1 万円	71.0 万円	78.3 万円

出所:厚生労働省職業安定局需給調整事業課 令和元年12月医療・介護分野における職業紹介事業に関するアンケート調査集計結果(概要)

ロボット等の導入を契機とした生産性向上

○ U字の法則

- ✓ **新しい取り組み**には**試行錯誤**がつきもの
- ✓ 調整コストなどが発生して**一時的に生産性が低下**することが一般的である(長期的視点が必要)
- ✓ **継続的なマネジメントで効率アップ**につながる



出所:厚生労働省「介護サービス事業(施設サービス分)における生産性向上のガイドライン」

◆ 主なICT機器の例



◆ ICT機器を活用した生産性向上の事例

- ✓ 複数のICT機器の情報を集約し、介護職員が効率的かつ効果的に介護ロボットを使用できる機器の導入



(出所) 社会福祉法人善光会「アウトカムをベースとした科学的介護の推進」

生産性向上推進体制加算において導入が要件となる介護テクノロジー

- ①見守り機器
- ②職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器 (インカム等)
- ③介護記録作成の効率化に資するICT機器 (介護記録ソフト等)

※加算 (I) は①～③の全て

※加算 (II) は①～③のうち1つ以上

兵庫県が取り組む支援



介護現場の生産性向上に関する総合的な取組

○「ひょうご介護テクノロジー導入・生産性向上支援センター」の運営

県立福祉のまちづくり研究所「ひょうご介護テクノロジー導入・生産性向上支援センター」を運営
介護ロボット・ICTの導入など生産性向上に関する事業者の取組をワンストップで支援

- ・主な業務内容
- ①介護事業者からの相談
 - ②介護ロボットの展示及び試用貸出
 - ③介護ロボット開発企業からの相談
 - ④介護ロボット活用推進フェアの開催
 - ⑤介護ロボット導入支援研修
 - ⑥伴走型支援によるモデル施設の育成



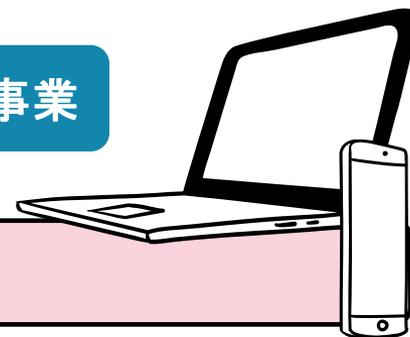
○ひょうご介護現場革新会議の開催

介護関連の団体・機関や市町など関係者が、それぞれの目線で捉える介護現場の課題を共有し、一体となって生産性向上・人材確保の取組を推進するための協力体制を構築

○ノーリフティングケアの推進

地域研修会の開催等による普及啓発を図るとともに、一定の研修を受講のうえ職場ぐるみでノーリフティングケアに取り組む施設を「モデル施設」「優良モデル施設」として認定

介護業務における労働環境改善・生産性向上支援事業



1 生産性向上に資する介護ロボット・ICTの導入支援事業

① 介護ロボット等の導入支援

介護ロボット等の導入や、見守り機器の導入に伴う通信環境整備にかかる経費の補助

② ICT等の導入支援

介護記録から請求業務までが転記不要(一気通貫)になるためのICT機器・ソフト等の導入にかかる経費の補助

2 介護業務における生産性向上支援(業務改善支援)事業



① 第三者による業務改善支援

介護事業所・介護施設が第三者から生産性向上の取組みの支援を受けるための経費(コンサルティング)の補助

② 介護現場における生産性向上の取組に関する研修・相談等

介護テクノロジーを導入・活用するにあたり必要となる職員のスキルアップ研修等経費の補助

令和6年度介護業務における労働環境改善支援事業及び 業務効率化支援事業について（結果）

令和6年度補助事業概要（終了しています）

事業名	対象施設 (介護保険法第8条)	対象機器等	補助率
1 介護ロボット等 導入支援	介護サービス事業所 (一部除く)	介護ロボット補助対象 機器一覧に記載された機器	4/5 上限あり
2 見守りセンサー 導入に伴う通信 環境整備	介護保険施設、特定施設入居 者生活介護 (過去の補助施設除く)	施設内Wi-Fiやインカム機器 整備、介護記録連携システ ム構築	
3 ICT等導入支援	介護ロボット等導入支援と同様	記録、情報共有、請求の業 務を一気通貫する機器・ソフ ト導入	

項目	令和5年度からの主な変更内容
補助率	4/5(事業者負担1/5)※上限額あり
補助先決定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所からの申請総額が県予算額を超過した場合、補助実績のない法人の事業所を優先して交付決定 ・予算残が生じた場合、上記以外の法人・事業所の中から抽選するが、別途通知する「事業者グループ協働化支援事業」を併せて実施する場合は、優先順位を上げる
事業期間	交付決定日から令和7年1月31日(金) ※上記期間内に、契約・購入・納品・支払いを終えること

介護ロボットの導入に関する課題



【設問】介護ロボットの導入や利用についてどのような課題・問題があると考えるか(複数回答)

区分	施設系 (入所型)	施設系 (通所型)	訪問系	全体
どのような介護ロボット等があるかわからない	10.9	23.5	19.4	19.5
導入コストが高い	83.1	66.2	56.0	63.1
投資に見合うだけの効果がない	25.8	20.8	27.8	31.6
介護現場の役に立つものがない	13.4	13.6	10.4	11.3
事業所にあったものを選定できない	16.1	14.0	11.6	13.3
導入効果をあげるための手順がわからない	13.4	11.3	9.9	11.0
技術的に使いこなせるか心配である	53.9	35.3	33.7	37.7
導入の推進役となる者が事業所にいない	18.9	17.0	12.9	15.4
経営トップ層の理解を得られない	7.0	7.0	6.0	6.7
特に課題はない	2.5	8.6	15.0	11.1

出典: 令和5年度介護労働実態調査結果(公益財団法人介護労働安定センター)より抜粋
 ※対象となるサービスを抜粋しているため、記載のあるサービスと全体は一致しない

課題

- ・高い導入コストに見合うだけの効果がない
- ・機器の使用法、現場に合った機器の選び方が分からない

➡ 介護ロボットの導入前後に、機器選定や活用法についてフォローが必要

介護ロボット・見守り機器導入補助金について（お願い）

令和6年度（実績）（施設系、訪問系、通所系サービス）

交付決定数 309施設・事業所（介護ロボット等<166>、ICT<143>）

👍 県老人福祉計画目標達成に向け順調に導入促進

連携を図りながら一体的に実施

区分	R5	R6	R7	R8
目標(計画)	500	600	700	800
実績(見込み)	367	511	656	800
達成率(累計)	73.4%	85.2%	93.7%	100%

（県老人福祉計画）



👍 R7以降は、介護ロボット等テクノロジー普及の裾野拡大補助実績がない事業所（特に小規模事業所）に注目

👍 導入前の相談、導入後のフォローアップ等については、ひょうご介護テクノロジー導入・生産性向上支援センターの活用を！

介護ロボット・見守り機器導入補助金について（お願い）



これまでの補助申請で見られた**悪い**ケース

- ☹️ **施設長の独断**で介護ソフトを入れたが、**誰も使えずに活用できていない**
- ☹️ **業者にすべてお任せ**で、あらゆる機器を導入したが、**使いこなせず無用の長物**に
- ☹️ 補助金は今年で最後だと**業者に言われ、言われるまま介護ロボットを導入**
- ☹️ 介護ロボットやICT機器を導入することを**現場スタッフに相談していなかった**ため、**反発**がおり**複数のスタッフが一斉に退職**した
- ☹️ **現場が必要とする機器より、加算取得優先で導入**を進めたため、
かえって**生産性が低下**



- 👉 補助金が活用できるからと、**安易な導入を進めると、様々なトラブル**が発生
- 👉 導入は、**管理・責任者と現場スタッフの意見交換や意思疎通**が重要
- 👉 **機器更新も見据えた導入計画**を作成したうえで、**機器導入の検討**を！

介護ロボット・見守り機器導入補助金について（お願い）

令和7年度も補助事業は実施予定
今から施設・事業所内で話し合いを！





動画の中でお示しした
キーワード3つを
回答欄に入力してください